

特集

のびのびと 島で暮らし、 宝物を見つける 子どもたち。

今回は子どもたちが唐津の島で学んで遊ぶ「島留学」を紹介。島に移り住んで、のびのびと暮らす子どもたちが見つける『宝物』とは？

からつ七つの島留学



唐津市の玄界灘に浮かぶ七つの島。そこは透き通った海や豊かな海産物、島ならではの歴史や文化など、多くの魅力にあふれています。県では、佐賀の本物の地域資源を活用した、地域住民による自発的な地域づくりの一つである「からつ七つの島活性化協議会」が行う島留学を応援しています。たくさんの方々に島留学に興味を持ってもらえるよう、「魅力化コーディネーター」を配置し、島の魅力や島ならではの、子どもたち一人ひとりを見守り育てる教育などについて発信するほか、留学生が生活する住まいの環境整備や寮の運営費など、唐津市と共に支援しています。

私は東京都出身で大学では教育学部でしたが、もっと子どもたちの生活に関わる仕事がしたいと思い、寮の指導員として高島に移住してきました。現在は子どもたちの話し方や食事の仕方などを指導しながら、みんなと思いきり遊んでいます(笑) 叱ることもありますが「あなたが大好きだから言っているんだよ」ということはしっかり伝えています。「島でのお母さん」みたいな立場でしょうか。子どもたちは親元を離れてさみしい気持ちもあると思いますが、島での暮らしを楽しみながら成長してほしいですし、みんなのために居心地の良い空間をつかってあげたいです。私自身も海や山など高島の大自然からエネルギーをもらっています！

「高島の寮」生活指導員
せき ひなこ
積 姫南杏さん

高島育ちの小学生は現在2名で、これまで島の中で子どもたちの声はほとんど聞こえませんでした。島留学として受け入れてから4ヶ月、毎日子どもたちの遊ぶ声が聞こえて島の大人たちにも活気が出てきました。みんな「島の子ども」として成長してもらいたいし、島を好きになってほしいですね。

高島 副区長
のざき たかお
野崎 隆夫さん



島に興味があって応募しました。不安もあったけど島の学校の人々と一緒に毎日を楽しんでいます！高島に来てよかったです。



現在7名の子どもたちが島留学をしています。小川島、加唐島、馬渡島の3島では、家族と一緒に住み、学校へ通う家族留学や、島の祖父母の家で生活し、学校へ通う孫留学を行っています。加えて、今年度から高島での寮留学が始まりました。高島では、子どもたちは親元を離れて島の寮で生活しています。島民に魚釣りを教えてもらったり、お祭りに参加して島の文化を感じたり。島の豊かな自然や島民とのふれあいの中で、子どもたちの『生きるチカラ』が育まれていると感じています。子どもたちには島だからこそ得られる様々な経験を宝物にしてほしいですし、島を『第2のふるさと』だと思ってもらいたいです。

唐津市離島振興室 集落支援員
ふるかわ まゆこ
古川 万佑子さん

問 唐津市離島振興室
☎0955-72-9220

karatsu nanatsunoshima ryugaku

子どもたちが暮らす
“高島の寮”



夕飯は島の人にもお世話になっています！

